

学校だより

2025年8月から10月までの 資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

●8月23日 2級電子機器組立学科

(3電気科)

●9月2日 2級電子機器組立実技

(3電気科)

●9月23日 QC検定4級

(3年希望者)

●10月16日 リスニング検定

(全生徒)

●10月20日 溶接JIS検定

(2溶接科)

トヨタ工業学園との定期 交流会で活発な意見交換



活発な意見交換

7月17日から18日、トヨタ工業学



トヨタ工業学園交流会

園との交流会を実施した。トヨタ自動車学校の、日立製作所の学校。日本を代表する企業内学校で、それぞれの強みを共有する交流会となった。双方の更なる成長につながる機会作りを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつなげることを目標とした。

3月のトヨタ工業学園での交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つのカテゴリーに分かれ活発な意見交換をした。次につながる新たな目標を決め、日常生活での実践につなげていく。今後も定期的に交流会を重ねていき、日専校生としての「あるべき姿」に近づいていきたい。

3電気科 菅野 昂流

私がトヨタ工業学園との交流会に

参加するのは今回で2回目です。前回立てた目標に対して自分たちがどのように実践できたかを振り返り、成果や課題を確認する良い機会となりました。お互いに意見を出し合い自分たちでは気付けない新しい視点を得ることができました。お互いの学校を更により良いものにするために、強みを成長させ、課題を強みに変えていくための取り組みを具体的に考え合うことができました。2度の交流会を経て、自分たちにはないトヨタ工業学園の強み、自分たちが持っている日専校の強みを再認識するとともに、お互いに新しい発見や、刺激を感じることができたことは大きな成果です。3年生にとって今回の交流会が最後となりましたが、新体制の2年生にしっかりと引き継ぎ、これから更に交流会が活発化していくことを期待しています。

3年生が就業体験

異なる分野の仕事を経験

7月28日から8月6日にかけて3年生総勢24名の生徒が校外活動を行った。長野県の軽井沢プリンスホテル、アミューズアドベンチャーで12名(男子8名、女子4名)、新潟県妙高市のLOTTIE HOTTIE LARA aiで男子12名が就業体験を実施した。軽井沢プリンスホテルでは、クロークの受付、お客様の送迎、荷物の受け取り・運搬など。LOTTIE HOTTIE LARA aiとアミューズ

アドベンチャーでは、ツリートレッキングのハーンズ付け、アクティビティのサポート業務、トレッキング周辺の安全確認作業を体験した。



ホテル、レジャー施設での就業体験

3年機械科 大橋 由依

今回の就業体験で感じたことは、スタッフの皆様の気配りやコミュニケーション能力の高さです。お客様への対応を常に行っているが、監視しているように感じさせず、困っているときにすぐに対応できる態度には学べべき点が多くありました。混雑時でも焦ることなく、すべてのお客様に対して丁寧に対応し、待ち時間にもお客様と積極的にコミュニケーションをとり、笑顔で安心感を与えていた点です。お子様が不安そうにしていたら励ましたり、安心させたりと、お客様の気持ちに寄り添う姿勢は素晴らしいと感じました。ア

若年者ものづくり競技大会

茨城県庁に入賞報告

8月2日および4日に開催された第20回若年者ものづくり競技大会において、本校からは、旋盤職種に3年機械科の嶋田龍聖、フライス盤職

(9頁へ続く)



茨城県庁表敬訪問

(8頁の続き)

種に同じく3年機械科の五月女大輝、メカトロニクス職種に3年電気科の金長真杜・木田将臣ペアの計4名が出場した。大会には、全国の職業能力開発施設および工業高等学校に在籍する20歳以下の学生・訓練生358名が参加し、15職種にわたってポリテクセンター徳島、ポリテクセンター広島、あなぶきアリーナ香川、その他5会場にて技能を競いあった。本校出場者のうち、五月女大輝がフライス盤職種で銅賞(第4位)金長真杜・木田将臣ペアがメカトロニクス職種で敢闘賞(第4位)を受賞した。受賞者には8月27日に茨城県職業能力開発協会より表彰状およびメダルが届けられ、9月10日には産業戦略部長・次長への報告も行われた。出場者たちは、今後の技能五輪大会出場を目指してさらなる技術向上に努めており、今後の活躍が期待される。

3年機械科 五月女 大輝



今回の大会では、「銅賞」を受賞することができました。目標としていた金メダルには届きませんでしたが、自分の持てる力をすべて出し切り、その結果が形となったことを素直に嬉しく思っています。このような結果を残すことができたのは、日々ご指導くださった先生方をはじめ

このたびの大会では、ご指導くださいました先生方をはじめ、日工同窓会の皆様、そして多くの方々の温かいご支援により、「敢闘賞」を受賞することができました。目標としていた第1課題を標準時間内に提出でき、これまでの練習の成果を発揮できたことを大変嬉しく思っています。一方で、第2課題は提出に至らなかったものの、この経験が自



競技中の五月女さん(フライス盤職種)

め、日工同窓会の皆様、そして応援・ご支援いただいた多くの方々の支えがあったからこそだと深く感じています。心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の技能五輪へとつなげ、次こそは金メダルを目指してより一層努力してまいります。

3年電気科 金長 真杜



このたびの大会では、ご指導くださいました先生方をはじめ、日工同窓会の皆様、そして多くの方々の温かいご支援により、「敢闘賞」を受賞することができました。目標としていた第1課題を標準時間内に提出でき、これまでの練習の成果を発揮できたことを大変嬉しく思っています。一方で、第2課題は提出に至らなかったものの、この経験が自

身の大きな成長につながったと感じております。今後はこの経験を活かし技能五輪へ挑戦し、良い結果を出して職場に貢献できるよう、引き続き努力を重ねてまいります。

若年者ものづくり競技大会では、「敢闘賞」を受賞することができました。ご指導くださった先生方、そして温かい応援をくださった同窓会の皆様をはじめ、全ての方々に心より感謝申し上げます。大会では、今できることを冷静にやり抜く」という目標を掲げ、最後まで自分と向き合うことができました。第2課題を提出できなかった悔しさは残りますが、この経験から得た学びは計り知れません。この悔しさを胸に、次の「技能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

3年電気科 木田 将臣



若年者ものづくり競技大会では、「敢闘賞」を受賞することができました。ご指導くださった先生方、そして温かい応援をくださった同窓会の皆様をはじめ、全ての方々に心より感謝申し上げます。大会では、今できることを冷静にやり抜く」という目標を掲げ、最後まで自分と向き合うことができました。第2課題を提出できなかった悔しさは残りますが、この経験から得た学びは計り知れません。この悔しさを胸に、次の「技能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

外となり、悔いの残る結果となってしまいました。約2ヶ月間の訓練期間中には、納得のいく課題が組めた日もあれば、思うように点数が伸びず、悩む日も多くありました。本番でも自分の実力を十分に発揮できず、悔しさばかりが残る大会となつてしまいました。しかし、この悔しさを糧に、次の目標である技能五輪



競技中の金長・木田ペア(メカトロ職種)



競技中の嶋田さん(旋盤職種)

能五輪」では、今回の反省を必ず活かし、さらに良い結果を目指します。そして、この大会で得た経験を糧に、社会で活躍できる人財になれるよう、これからも日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

3年機械科 嶋田 龍聖



入賞を目標に訓練に励んでまいりましたが、結果は賞

で成果を出せるよう、今後も努力を重ねてまいります。最後になりますが、これまでご指導くださった先生方、日工同窓会の皆様、そして応援・ご支援いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

部活動リーダー研修会
新たな体制で活動開始



部活動リーダー研修会

8月29日、2年生以下の新リーダー(部長・副部長・生活指導)が参加し、部活動リーダー研修会が行われた。グループ討議では「リーダーとは何か」「どんなリーダーになりたいか」を話し合い、仲間の意見を尊重し、組織を意識した行動が大切だと学んだ。今泉校長からは「チーム力を高めるために」と題して、協力の重要性の話があり、その後はスライドを

(10頁へ続く)

(9頁の続き)

用いて各部の活動目標、課題と克服方法、リーダーの自覚を整理・発表した。新体制で伝統を継承しつつ改善を重ね、より有意義な学校生活や部活動を築くことが期待される。

2年電気科 玉野 輝晟

(考動アクション部活動委員長)

この度、部活動委員長となりました玉野輝晟です。8月29日に部活動リーダー研修会に参加させていただきました。部活動リーダー研修会では各部のリーダー(部長、副部長、生活指導)が他部活のリーダーとグループになりリーダーの定義やボトムアップ理論などの様々な議題について話し合いました。研修会の後半には各部でスライドを作り、今後の目標、現状の課題、活動計画などについての発表を行いました。今回の研修を通して、各部の現状や目標、リーダーとしての立ち振舞いについて考える良い機会になりました。今後は今回の研修会を通して学んだことを活かして部活動をより良いものにできるように日々精進していきたいと思っています。

都市対抗野球応援**6年ぶりに東京ドームへ**

第96回都市対抗野球大会が8月28日から開幕し、日立製作所野球部の初戦は9月2日、福岡市代表の西部ガスと東京ドームの舞台で激闘を繰り広げた。



都市対抗野球全校応援(東京ドーム)

日専校の都市対抗応援は6年ぶりとなり、現生徒は初めて東京ドームでの都市対抗応援となった。今回、電気科電子コースは技能組立て技能検定があり残念ながら参加がかなわなかったが、総勢208名の応援団で試合に挑んだ。

日立製作所野球部は序盤から劣勢な試合運びで、チャンスすら作らせてもらえない状況だったが、日立名物の大応援団による「ウェーブ」やタオルを振り回す「モンキーターン」を披露し、球場全体の一体感を引っ張る形で日専校生徒が躍動すると、終盤の8回裏に2アウト満塁のチャンスが訪れた。しかし、最後まで流れを掴みきれず、日立製作所野球部の初戦突破はできなかった。試合後、生徒たちは悔しさが溢れ、試合の分析や応援の反省を交わしながら日専校へと帰校した。今回の都市対抗で日立製作所の一体感を目の当たりにし、良い経験ができた。来年こそは1つでも多く東京ドームで応援できるようこれからも日立製作所野球部を応援したい。

寮委員研修会を開催**2年生リーダーに引継ぎ**

9月24日午後から寮食堂にて開催された本研修会には10月から始まる3年生の工場実習に伴い、現2年生の寮生から新たに選出された11名の新委員と18名の旧委員が参加した。研修会のプログラムは以下の通り。

- ①校長、寮管理グループ長挨拶
- ②新委員挨拶
- ③旧委員による活動実績報告
- ④新委員によるグループ討議(活動スローガン、および全員リーダー制における役割決定)
- ⑤各リーダーによる活動指針発表

新委員はグループ討議を通して、更に良い寮にするための活発な意見交換を行い、活動スローガンを「自慢できる寮 笑顔でつくる毎日」と決定した。

各委員には、委員長を統括役とし、安全衛生、食事、女子生活など10種類のリーダー的役割が与えられ、各々が活動方針や具体的な活動内容を決め全員で共有できた。

今後、新委員を中心に全寮生が考動し、より良い寮を創りあげることが期待する。

2年電気科 海老澤 瑠波

(考動アクション寮委員長)

今回、寮委員研修会に参加し、寮生活の中で委員としてどんな役割や責任があるのかを知ることができました。委員長として、全体を常に見渡し、いろいろなことを考えながら判断していく必要があると感じました。また、意見をまとめるためには日頃からのコミュニケーションが大切で、協力し合うことで課題を解決できることを学びました。さらに、先輩方が築いてきた取り組みや雰囲気の大切さを改めて知り、それを受け継ぎながら新しい工夫を加えていくことの必要性を感じました。今後は、この研修で得た学びを活かし、みんなが思いやりを持ち、お互いに気持ちよく生活できるような寮づくりをめざして、委員長として責任を持ち、積極的に考動していきたいと思っています。



寮委員研修会

3年生が退寮**寮内の部屋替え実施**

9月24日の午前に日専寮の部屋替えが行われた。この日は3年生の工場実習に向けて事業所毎や退寮して新天地への準備の部屋替えである。日専寮では年に3回の部屋替えがあり、6月にはチームワーク向上を目的に部活毎、3月には新たな仲間となる1年生の入寮に向けての部屋替えである。寮生約200人が暮らすこの大きな寮にとつて、この日はまさに一大イベントである。部屋から運び出されるのは、教科書や制服だけではない。汗と涙が染み込んだユニフォーム、趣味全開のぬいぐるみや推しのグッズなど多彩だ。教員たちが部屋を巡回し、荷物が運び出された後の部屋の清掃状況を厳しくチェックする。要領の良い生徒は最小限の荷物でテキパキと移動を済ませて時間通りに終わらせている。部屋替えは単なるモノの移動だけではない。新しい出会いと2年生の新体制の寮委員のもと新たな青春の物語が始まる。寮担当職員として5Sの徹底を願う。

3年生が工場実習前に研修**18事業所で実習開始**

3年生は、日専校における教育プログラム最終仕上げとして、後期より就職が予定されている事業所において約半年間の『工場実習』を実施(11頁へ続く)

(10頁の続き)

施している。工場実習を前に、9月25日から30日の4日間、社会人としての心構えの習得を目的とした研修を開催した。校長訓話をはじめ、生徒支援や安全衛生に関する講話、消費生活センター様による悪徳商法に関する講演、実習中や就職後に役立つ3つのテーマを題材にしたグループ討論および発表、自炊のヒントになる食育コンテスト受賞者の発表などにより、実習や就職に向けた意識の向上を図ることができた。実家からの通勤が困難な一部の3年生を除いた寮生は、2年半を過ごした日専寮を退寮した。3年生54名は、10月2日より18事業所において工場実習を開始した。



工場実習前教育

技能五輪全国大会(電気溶接)3年溶接科 塙和樹さん出場
10月10日、第63回技能五輪全国大会電気溶接職種のAグループに3



大会前の壮行会

年溶接科の塙和樹が茨城県代表として出場した。競技会場は千葉市の高度ポリテクセンターで行われ、競技日の表情は緊張している様子はなく、落ち着いているように感じた。準備をしている時も、事業所選手(日専校卒)と会話をしながら、程よい緊張感で過ごしている様に見えた。競技が始まると、さすがに緊張している様子ではあったが、こちらが想定していたよりも落ち着いて作業出来ていた。作業時間は、普段より4分早かったが、大きなミスはなく第1課題、第2課題、第3課題を製作し、第4課題の組立途中で午前の作業を終えた。午後からの作業でも、冷静に溶接を行い、課題の製作を終えた終了後は、達成感のある表情を見せており、「多少のミスもいつも通り」、「自分の実力は出せました」と話していた。10月16日に行われた耐圧試験では2MPaでの漏れ無かったが、



3年溶接科 塙和樹

6MPaで漏れてしまった。訓練では1度も漏れたことのない箇所からであり、悔しい思いをさせてしまった。閉会式では思い通りの結果を残せず悔しがる選手や、訓練の成果を発揮し納得のいく成績を残せた選手、様々な表情の選手たちを、間近で見ることが出来、「来年は自分も名前が呼ばれるように頑張ります」と、すでに来年の大会へ気持ちが向かっていた。

私は10月10日に行われた、第63回技能五輪全国大会「電気溶接」職種に出場しました。私は2年生になつてから技能五輪訓練と部活動を並行して行ってきました。心身ともに楽しなものではありませんでしたが、技能五輪に挑戦したことで大きく成長できたと感じています。訓練では目標達成のためにやるべきことを着実にやってこれたと思っております。本番では初めての全国大会への出場ということで不安もありましたが、日立グループの先輩方と同じグループということもあって緊張しながらも最後まで楽しんで競技することができました。出来上がった課題はこれまで自分がやってきたことを全部出し切り、悔いのないものを提出できました。今大会に出場す



技能五輪全国大会(競技中の塙さん)

るに当たり、ご指導いただいた先生方や応援してくださったすべての方々に感謝申し上げます。また、これから事業所に行っても技能五輪に挑戦させていただけるので自分の中で今以上に求めて、高い目標を達成できるように努力していきたいと思っています。

オープンスクールを開催

多くの中学生が来校

7月から10月にかけて、全4回のオープンスクールが無事に終了しました。今年も北は青森県、南は大分県と全国各地から見学に来ていただいた。オープンスクールは文字通り「学校を開いて」見学者を迎えるものだが、学校説明会も併せて実施している。5月から、熊本県・青森県・山口県の3県を含む重点PR地域や、いくつかの事業所のご協力を得て開



オープンスクール

催した。

精いっぱい広報活動に取り組んでいるが、いまだに「こんな学校があったなんて」との声をいただくことがある。情報があふれる社会の中で、引き続き必要とする人に届く広報を続けたい。日工同窓会会員の皆さまも、お近くに小中学生がいらっしゃるれば、「日立製作所の学校があるの、知ってる?」と一声かけていただくと嬉しい。

エリック シュラング先生

(英会話)ご逝去



生徒、職員に愛され、いつも元気で笑顔が絶えなかったエリック シュラング先生が10月8日に永眠されました。心よりご冥福をお祈りいたします。